

2002. 5

NO. 5

LETTER

目次

- グリーンファンド活動報告
「あけぼの保育園におひさま発電所が設置されました」 …… 2
- 理事からの一言 (阿部 あり)
- 『燃料電池 現状と可能性』セミナーに参加して …… 3
- 「おひさま発電所」設置から一年 (久山 慶子)
- 省エネひとくちメモ (木原 浩貴) …… 4
- コラム
「RPS・日本の自然エネルギー買取制度について」 (豊田 陽介) …… 5



特定非営利活動法人
きょうとグリーンファンド



あけぼの保育園におひさま発電所が設置されました



今回のあけぼのソーラープロジェクトは、京都市伏見区にあるあけぼの保育園に太陽光発電設備を市民共同で設置するというものです。きょうとグリーンファンドが早い時期から思い描いていた「地域の保育園・幼稚園に太陽光発電設備を！」というプランが実現したのです。

昨年7月の設置場所募集から始まり、設置場所決定・あけぼの保育園との協議・新エネルギー財団(NEF)補助金申請・寄付呼びかけ・寄付のとりまとめと寄付をしてくださった方々へのお礼や報告・点灯式の案内・設置工事・保育園関係者に対する説明や啓発・実績報告書作成など振り返れば、よく手薄なスタッフでやり終えたな、というのが正直なところ。もしわかっていたら、踏み出せなかったかも知れませんね。

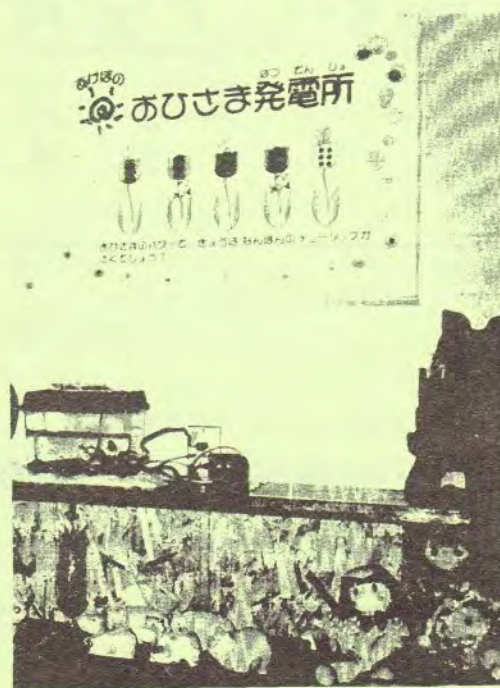
今回は、きょうとグリーンファンドが補助金申請の主体となったため、申請書や実績報告書作成にかなりの労力が必要でした。設備費用の2分の1が補助されるわけですから、大変ありがたい補助金ではあるのですが、新エネルギー財団(NEF)の考えかたに合わせて書類を整えるについては戸惑うことばかりで、補助金が口座に振り込まれたときには、ほんとうにほっとしました。

設置場所となったあけぼの保育園では、園長先生はじめスタッフの方々がきょうとグリーンファンドの趣旨をよく理解してくださり、私たちは協力しながら気持ちよくこのプロジェクトを進めることができました。「すばらしい出会い」となったことを感謝したいと思います。

これからは、あけぼの保育園はもとより地域にも環境学習の機会を設けるなど、持続可能な社会を目指して、ともに進んでいけると楽しみにしています。

昨年の森のセンターに続いて「発信基地」がまたひとつふえたわけです。

寄付は保育園の保護者・関係者・あけぼのケアハウスに居られる方々・醍醐地域の女性会や社会福祉協議会のほか、企業や大学生のグループ、福岡県・熊本県・鳥取県・広島県・愛媛県・長野県など遠方からも寄せられました。また、「節電をした分を寄付します」と5口も送ってくださった方、事務所にわざわざ持ってきてくださった方、ご家族で一口づつ寄付してくださった方、そしてきょうとグリーンファンドの会員で基金にもあけぼのソーラープロジェクトにも寄付をして下さった方…、今回もほんとうに多くの方々の思いが形となりました。



あけぼの保育園の玄関にある特別仕様の表示板



あけぼのソーラープロジェクト報告

● 総事業費	566万円
● 寄付額(274の個人・グループ・団体から)	244万円
● きょうとグリーンファンド基金	40万円
● NEF補助金	250万円
● 事務経費	32万円

以上のようにになりました。

きょうとグリーンファンド設立まで（その後も大変ですが）多大な努力を積み重ねてこられた方々に「ありがとう」と言いたい。呼びかけにひよいと応じて、ほとんど出来上がっていた会に首を突っ込み、皆の知識や熱意に驚き感心し、引っ張られながら参加している私は、自分自身の告白しちやいますと…。宵っ張りの朝寝坊。電気をたくさん使っています。ちよいとそこまで行くのに車を使うし、忙しさにかまけて出来合いの惣菜が食卓によく並ぶし、タバコも吸うし、風呂の残り湯を洗濯に利用はしているが、バケツで汲み出さずに「アッピー」を使っているし、洗濯干しは太陽や風のエネルギーを利用すべきなのに、12回に1回位はガス乾燥機を使ってしまう。たまにハッスルして家中のプラグを抜きまくり、廊下やトイレの電球をW数の低いものに変えてみたり、COOPの共同購入の商品が入っている発泡スチロールの箱をちよいと借りっぱなしにさせてもらい、保温調理器のまねごとをしたり…とまあ色々やってみてはいるけど、我が家の3人娘の浪エネぶりにかかるとなんだかゴマ粒が天津波にさらわれるみたいなもので、「私の節約したエネルギーはど

こに消えちゃったのよ〜」ってなカンジ（なんだか変な省エネ）。子供達への家庭での環境教育が行き届かなくてすみません。

しかし、今年の夏は、クーラーが壊れてしまったついでに、ひたすら我慢をしたおかげで少しは節電できた。

今年も家族のプーイングに屈さず、できるだけのらりくりりと買わないでいようと思っている。

今年の3月は「三寒四温」どころか「一・五寒五・五温」くらいの勢いで温かくなったように思う。4月というと入学式。その日に桜の花は昔から定番だったのに、すでに散り、私の住む宇治の塔の島桜まつりも、葉桜まつりになってしまったし、きっと今年の新入生たちの思い出の桜は葉っぱだけだろうな。

ほんとうの季節を五感で味わいたい。高知の田舎で子供の頃には肌で感じる季節ごとに遊びもまた違っていた。私も他の子供もみんな健康だった。

あ〜やっぱり少しずつでもやっていかなくちゃ。みなさんこんな私ですが、よろしく願います。

◎ セミナーに参加して

「燃料電池 現状と可能性」 講師：志波 徹さん(大阪ガス)
3月29日(金)18:30〜 キャンパスプラザ京都

■発電所から送られてくる電気には送電ロスや、CO2の発生といった環境負荷があり、エネルギーの有効利用と環境保全の面から、個別発電の「燃料電池を使用したコウジェネレーションシステム」には興味がありました。セミナーでは天然ガスと石油発電の環境負荷の対比、そしてガス・コウジェネレーションの省エネ性についての解説がなされ、続いて本題の燃料電池についての構造解説と事例紹介がありました。一般誌等では判り難い燃料電池の構造や発電原理も、丁寧な解説と図解でよくわかり、初めて得たことが多くありま

した。

実証施設として講師の志波氏の関わっておられるNEXT21の紹介があり、施設では100kWのリン酸型燃料電池を設置し、コウジェネレーションで給湯・空調を行っているとのことでした。過去5年間の発電実績の報告では順調に稼働しており燃料電池を使った家庭用コウジェネレーションシステムも市販が近いとのこと、燃料電池への興味はつきませんでした。

(西本雅則さん)

■最近よく「燃料電池」を耳にはするものの、それがどんなもので、どう発電し、現在どこまで開発が進んでいるのか、実はよく知らなかったもので、今回の勉強会に参加させていただきました。私はこれまで、燃料電池というと自動車というイメージを持っていたので、都市ガスを使った燃料電池による住宅用のコウジェネレーションシステムが、商用化段階まで来ていることを知り大変驚きました。燃料電池の特徴は、発電効率が高く、熱の有効利用もできることです。このシステムを使えば、都市ガスのエネルギー約80%が電気と熱

の形で有効に使えるため、電気に比べて大変省エネになると思います。しかも都市ガスの原料は天然ガスであるため、Nox・Sox・CO2などの排出量も石炭・石油に比べて少なく環境負荷も小さくなります。省エネやエネルギーの高効率利用は大変重要なことです。その点で、燃料電池に注目する価値はあると思います。これから、さらにどう開発が進んでいくのか楽しみです。今回、第一線で研究しておられる方の話を聞くことが出来て勉強になりました。

(深山幸会さん)

◎「おひさま発電所」の設置から一年が経って

フィールドソサイエティ事務局 久山 慶子

共生堂・法然院森のセンターに「おひさま発電所」が設置されて、一年が経過しました。屋根には、今日も太陽の光が降り注いでいます。森のセンターを拠点に活動する子供達にとってもそれは嬉しいことのように、「かっこいい!」という声が聞こえてきます。電気を存分に使うことより、エネルギーに配慮していることを「かっこいい」と思えるのは、大切な感覚でしょう。屋根のパネルは背伸びをしながら見る感じですが、ギャラリーにある発電量の表示に「ふむふむ」という顔をしてくれます。

また、学習会で訪問された方々の多くが、森のセ

ンターの展示や活動内容に「おひさま発電所」はびっくりですね、という言葉をかけて下さいました。設備の見学にこられた場合でも、パネルや表示機器を見て頂くだけでなく、自然学習・環境学習のための建物である事もお伝えしています。

わたしたち人間も、自然界の恵みである太陽のおかげで食べ、育ち、生活しています。その太陽光からは電気も得られる……このことが福利につながることを願い、「おひさま発電所」の下で森の生き物について学びながら、エネルギーのことを考える機会を持ち続けたいと思います。

◆省エネひとくちメモ

エアコンの電気消費量 50%OFF の簡単な方法 木原 浩貴 (気候ネットワークスタッフ)

財団法人省エネルギーセンター省エネルギー普及指導員

エアコンは家庭で最も多くの電気を消費する機器で、その消費量は家庭の年間電力消費量の 23.6%を占めます。当然それにとまって、非常に多くの二酸化炭素が排出されています。エアコンの電気消費量を減らすための、最も簡単でかつ効果の大きい方法は「買い替えの時に省エネ型のものを選ぶ」ということです。

「当たり前じゃないか」と思われるかもしれませんが、なかなか実行されていないのが現状なのです。

例えば、18万円の最新機種と5万円で大安売りされている最も効率の悪い機種が並べて売られていたらどちらを選びますか? ついつい安いほうに手を出してしまいそうですよね。でも、その電気消費量を比較すると、最新機種は効率の悪い機種の半分以下です。購入時に少し気をつけるだけで、同じように使っているでも二酸化炭素排出量を 50%減らすことができるわけです。ちなみにこの差は年間電気代に換算すると、なんと約2万円! 値段の高い最新機種を買っても、たった6.5年でもとがとれてしまいます。

また、現在販売されているエアコンの平均値と比較しても最新機種は約 35%の省エネ。年間 9000 円近くも電気代が安くなります。つまり、目先の安さにだまされないだけで、環境のためにもお財布のためにもなるわけです。これを知っていたらもう安いだけのものを買う気は起こりませんよね。この夏のボーナスでエアコンを購入する予定の方もいらっしやるでしょう。そうでなくても、今後 10 年くらいの間には皆エアコンを買う機会があると思います。その時には「できるかぎり効率の良いものを選ぶ」ということを忘れないようにしてください。

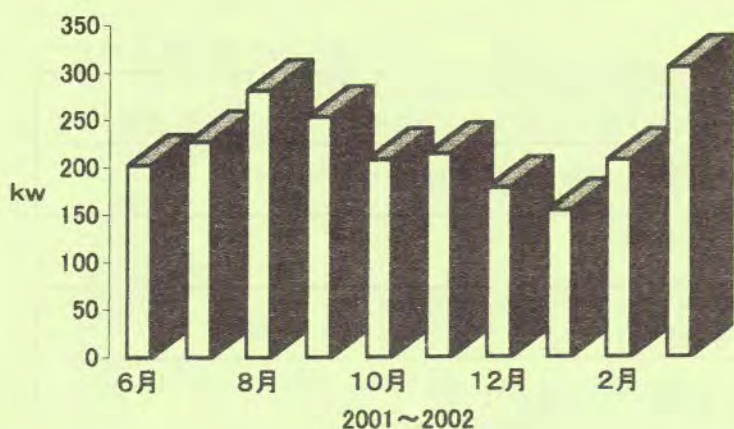
たくさんエネルギーを消費する機器だけに、エアコンは工夫次第で大きな省エネ成果をあげることができます。もう一度買い方、使い方を見直してみてください。



□本文中で用いているデータは6~9畳用のエアコンのものです。

参考資料: 省エネ性能カタログ 2001 年夏 (発行: 財団法人省エネルギーセンター)

「おひさま発電所1号」月別発電量



「おひさま発電所」

元気に働いています

2001年3月3日設置した法然院・森のセンターの「おひさま発電所1号」が1周年を迎えました。昨年6月からのデータですが、元気に働いている様子がうかがえてうれしいですね。少し平均よりは少ないかもしれませんが、木立に囲まれた森のセンター、木の葉の光合成が盛んで、おひさまの恵みは充分活かされている?と思うのですが…。寄付をしてくださった皆様、ご安心下さい。

「おひさま発電所1号(4kw規模)」総積算発電量(2001/3/3~2002/4/1) / 3066kw

コラム

「RPS~日本の自然エネルギー買い取り制度について~」

豊田 陽介

「RPS」(注1)とは、「クォータ制度」、「グリーン証書制度」とも呼ばれる新しい自然エネルギー普及制度で、欧州や米国で提案、実施されています。

これは電力供給に占める一定比率を自然エネルギーで供給することを政府が義務付け、電力会社はそれを達成するために自然エネルギー発電者から「グリーン証書」を購入する、という仕組みです。自然エネルギーの持つ環境付加価値を「証書」として、証書取引をあわせて行うことにより市場メカニズムを通じて自然エネルギーのコスト低下が期待できるという特徴をもっています。

さる3月15日、日本政府は、経済産業省が新しくとりまとめた「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法案」を閣議了承しました。この法案はRPSを基にしており、電力供給者に対して供給電力の一定割合を新エネルギーで供給することを義務付けるものです。電力供給者は、この割り当てを達成するために自ら発電設備を所有するか、もしくは他の電力供給者から不足分を調達しなくてはなりません。

しかし今回の法案ではグリーン証書のような証書取引もなく、また対象電源として廃棄物発電が含まれていることなど問題の多いものになっています。特に対象電源に廃棄物発電が含まれると、対象

電源ごとに割当量が定められていないため、太陽光や風力などに比べて発電原価の安い廃棄物発電が割り当ての大半を占めてしまうことが予測されます。そうすると風力・太陽光・バイオマス・中小水力などの自然エネルギーが、市場から締め出され、今後まったく伸びることなく衰退してしまうことが危惧されます。

また廃棄物発電の原料となる可燃ごみ(特に廃プラスチック)の元は化石燃料であるため、これらの燃焼により90年比で+2%のCO2排出が引き起こされることにもなりかねないと言われています。(「自然エネルギー促進法」推進ネットワークによる試算)

今回のこの法案は、上記で取り上げた以外にもさまざまな面で現在の状況に即さないものになっています。これでは、現在、地域で芽吹き始めている自然エネルギー普及の取り組みの芽を、摘み取ってしまうことになりかねません。一刻も早い見直しと再検討が必要です。

注1 RPS「Renewable Portfolio Standard」の略

参考資料：新エネルギーの発電原価

- ・ 太陽光 66円
- ・ 風力 10~14円
- ・ 廃棄物 9~11円

(資源エネルギー庁のデータより抜粋)

□きょうとグリーンファンドのメンバーになるには？

- 会員は、会費をおさめ会の運営を支援します。「NPO 法人社員」にあたります。
- サポーターは、ファンド(基金)への寄付のみの参加です。

I. まず、会員かサポーターかをお選びください。(入会申し込み書は事務局まで)

会員	10000 円/年	催し物のご案内、会報(年3回程度)をお送りします。 ※会員は「NPO 法人社員」として会の運営に参加していただきます。
サポーター	6000 円/年	催し物のご案内、会報(年3回程度)をお送りします。

II. 次に、払込みの方法をお選びください。

郵便振替 (年払い)	☆下の口座に直接振り込んでください。年1回(入会月) [郵便振替口座 00930-6-157817 きょうとグリーンファンド]
郵便局からの 自動払い (年払い)	◆会員…年1回 10000 円(入会月)が引き落とされます。 ◆サポーター…年1回 6000 円(入会月)が引き落とされます
郵便局からの 自動払い (月払い)	◆会員…年1回 4500 円(入会月)と、月々500 円が引き落とされます。 ◆サポーター…月々500 円が引き落とされます。

★ろうきん口座からの自動払いの方法もあります。この場合手数料はかかりません。詳しくは事務局にお問い合わせください。

☆事務所移転のお知らせ

きょうとグリーンファンド事務局は2000年3月から京都プロボノセンターにスペースをお借りしていましたが、このたびきょうとNPOセンターが烏丸通錦西入るに移転するのに伴い、同じ事務所にスペースをお借りすることになり、3月末移転しました。

寺町のほっこりとした事務所から、烏丸四条に近いオフィス街の共同事務所へと、趣のちがった事務所に引っ越した当時は、雰囲気も異なりちょっと落ち着きませんでしたが、今は明るく若い人たちの出入りの多い事務所になじんできました。お近くにおいでの際は、一度のぞいてみて下さい。

※お手数ですが、住所録などの訂正をよろしく願い致します。

ぐりふあん日誌

- 11.13 ぐりふあんレター発送
- 11.16 あけぼのソーラープロジェクトの呼びかけ発送作業
- 12.02 あけぼの保育園作品展で啓発活動
- 12.25 京都府環境企画課と協議
- 2002
- 01.07 事務局会議
- 01.18 理事会
- 01.21 新エネルギー財団(NEF)説明会で事例発表
- 01.25 事務局会議
- 02.10 あけぼの保育園点灯式
- 02.26 新エネルギー財団(NEF)実績報告書提出
- 03.26 事務所 引越し NPO センターへ。
- 03.29 理事会
- 03.29 セミナー開催「燃料電池 現状と可能性」
(キャンパスプラザ京都)
- 04.25 事務局会議
- 04.06 おひさまキャンペーン 話し合い

特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド

事務局(新住所) 〒604-8155

京都市中京区烏丸通錦西入る占出山町 308
ヤマチュウビル2F (火~金 13:00~17:00)

TEL/FAX 075-241-0550

E-mail grifan@h7.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~kyoto-gf>

